



梅棟（仮称）の地鎮祭行う

令和10年3月完成予定

本工事手
体工事手
本着

国土館キャンパス環境整備事業の第一期として、梅棟（仮称）の地鎮祭を行う。梅棟の新築工事を前に、地鎮祭が7月6日、世田谷キャンパスの建設予定地で執り行われた。本学から瀬野隆理理事長、田原淳子学長、渡邊校長をはじめとする学園役職者ら29人、株式会社久設計から7人、株式会社沼組から14人が参列し、工事の安全を祈願した。

神事は、世田谷八幡宮宮司によって行われ、地鎮の儀には関係者の代表がそれぞれ参列し、梅棟（仮称）の地鎮祭で参入をす。瀬野理事長は、梅棟は、準備工事が6月15日から始まり、本工事は7月15日に着工、基礎工事や躯体工事などを順次進めながら、令和10年3月の完成を目指している。



見て触れて感じて…オープンキャンパス盛況

本学は4月から7月にかけて、令和9年度入学希望者向けのオープンキャンパスを世田谷・町田・多摩キャンパスで合わせて5回開催、5491人が来場した。

各キャンパスでは、大学紹介や入試説明会、学部・学科説明会を通じて、本学の特徴や今年度実施される入試の留意点を説明した。また、留学制度やクラブ・サークル、奨学金など学生生活に関する質問に教職員が答えたほか、キャンパスランチ体験や在学生によるキャンパス見学ツアーも実施し、来場者に本学の魅力を伝えた。

多摩キャンパスの見学ツアーでは、4月から新たに導入された「低酸素システム」などの各種最新スポーツ施設を案内し、専門知識を有する担当教員から詳細な説明が行われた。来場者からは、本学ならではの施設を目の当たりにして、キャンパスライフへの想像を膨らませている。

オープンキャンパスは、8月にも開催を予定している。



田原学長からご家族らに本学の取り組みや特色について紹介

本学は、令和8年度教育懇談会を7月12日まで、世田谷・町田・多摩キャンパス、地区会場として仙台市と松山県でそれぞれ開催し、合わせて1650人のご家族が参加した。

6月20日は、町田キャンパスで21世紀アジア教育懇談会を開催し、今年度は、東京3会場、地区4会場（宮城・静岡・新潟・大阪）で合わせて8回の大会を予定している。

LINE公式アカウント

友だち募集中

『国土館大学』

『国土館大学新聞』発行のお知らせをそのほか、大学の旬のトピックも随時配信でお届けします

イベント情報

- ◆鶴川祭（町田キャンパス）：10月11・12日
- ◆楓門祭（世田谷キャンパス）：11月2・3日
- ◆多摩祭（多摩キャンパス）：11月14・15日
- ◆ホームカミングデイ：11月3日11時～12時

会場：世田谷キャンパス多目的ホール

招待者：卒業後60年目（昭和42年卒）、50年目（同52年卒）、40年目（同62年卒）、30年目（平成9年卒）、20年目（同19年卒）、10年目（同29年卒）

【お問い合わせ】
総務課：03（5481）3112
◆第5回救急救命士会フォーラム：9月12日13時～16時50分
会場：多摩キャンパス25号館臨床実習室

「カフェビジネス」を企画し接客や調理で奮闘する田中ゼミ生ら

さあ！教室飛び出し学内外で生き生き交流



国土館には出会いと楽しさがある。

7学部10研究科を有する本学では、学部・研究科それぞれで多様な学びが展開されている。時には教室の外へ出て、また授業の枠を越えて自ら挑戦し、課題を見つけ、次に向けて試行錯誤する。その一連のプロセスを通じて、学生は成長を遂げている。その姿は、本学の教育指針「『読書体験反響』を实践し、『思索』すること」に通ずる。

向上心を胸に自ら実践し続ける学生らの取り組みを紹介する。

学生考案 メニュー完売

事業創造、地域活性化へ 田中ゼミ生が「カフェビジネス」

経営学部・田中史人ゼミ（以下「田中ゼミ」）で1日限定の「カフェビジネス」に挑戦した。田中ゼミ生らは、板橋航空・長崎さん（さん）の3人が5月13日、本学世田谷キャンパスから徒歩8分の位置にある「KOKU-FES」で、地域イベント「KOKU-FES」で1日限定の「カフェビジネス」に挑戦した。田中ゼミ生らは、板橋航空・長崎さん（さん）の3人が5月13日、本学世田谷キャンパスから徒歩8分の位置にある「KOKU-FES」で、地域イベント「KOKU-FES」で1日限定の「カフェビジネス」に挑戦した。



弾き語りも登場した「KOKU-FES」で交流を深める学生ら

各国料理囲み247人破顔

国籍の枠越え 学生による学生のための国際交流フェス初開催



ビジネスを主導した田中ゼミ生

本学に在籍する外国人留学生と日本人学生との交流促進を目的とした初学生主催国際交流イベント「KOKU-FES」が5月19日、世田谷キャンパスの34号館スライディングで開催され、6万回の留学生と日本人学生合わせて247人が集った。

実行委員長の森貞（さん）が中心となり、劉雅馨（さん）（文）が代表を務める本学留学生会が連携してイベントの企画・運営を担った。

当日は、森貞さんが「居場所がほしい」と感じる仲間、安心して交流できる場所を届けたい」とイベントに込めた思いを説明した。会場には、クラブ・サークル紹介、世界各国の食事が楽しめる「キッチン」など多様なコーナーが設けられ、中でも「タリリンク」には、文化の違いを受け止めるために、各国の食事を楽しまつつ、互いに交流を図ることが必要」という思いが込められていた。料理が手に入れた来場者には、笑顔があふれ、自然と会話が弾んでいた。居心地の良い空間が、自然と会話が弾んでいた。居心地の良い空間が、自然と会話が弾んでいた。

本学国際交流センター主催の言語交換プログラムが、5月からの3か月間、世田谷・町田の両キャンパスで開催された。プログラムは、外国人留学生・日本人学生の交流促進と語学向上を目的とし、日常生活の中で互いに言語を教え合い、文化を紹介する機会を設けている。今年度から、参加学生の意見を取り入れたイベントを数多く開催し、学生がより積極的交流を図っている。

劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。

劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。

劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。

劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。劉さんは、「日本人学生と協力してイベントを」と協力を呼びかけた。

盛況。サンドイッチは当初想定していた15食を大きく上回る60食超を売り上げた。営業中は細かなトラブルにも見舞われたが、オーナーの後援者の助成で乗り越えることができた。失敗も新たな発見も実践の場であり、得られない学びの連続だった。

挑戦し続ける学生らは、利益を上げることはもちろん、ビジネスを通じて人を幸せにする喜びを知りました。と、充実感をにじませた。



国土館の今 ③七夏の短冊に願い込め

町田キャンパス30号館1階中庭の竹に七夏の短冊が飾られた。本取り組みは、「願いは、書くこと少し近づくと」のコンセプトのもと21世紀アジア学部が企画。6月中旬から、30号館エンタランスにフリースペースを設置すると、同学部の学生らが夢や願いなどを思い思いに綴った。集まった100枚を超える短冊に書かれていたのは「家族の健康」や「学業成就」などさまざま。学生らの願いや夢は、七夏の夜に光るとな星よりも輝いてみえた。

（令和8年7月7日撮影、町田キャンパス30号館・中庭）



題字は創立者 柴田徳次郎筆
発行所
学校法人 国土館
〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1
編集 広報課
☎ 03-5481-3115



国土館大学新聞はウェブサイトでもご覧になれます



www.kokushikan.ac.jp/information/public_relations/newspaper/
年4回・27日発行
（1・4・7・10月）

卒業生の皆様へ
いつも国土館大学新聞をご愛読いただき、ありがとうございます。
発送停止やご住所の変更は下記までご連絡ください。よろしくお願いいたします。
同窓会事務局
TEL：03-3413-7303
〔平日9:00～17:00〕

今号の紙面

- ▼功績たえ名譽教授の称号6人に……2面
- ▼インクルーシブデザインキャンパスに向けたワークショップを開催……4面
- ▼公務員・教員に596人就職……6面
- ▼32年ぶり日本開催 アジア競技大会に本学から4選手出場……6面

理工学部 理工学科 機械工学系 教授 富樫 盛典

流体力学に基づくユニークなドローンの活用を通して、さまざまな社会課題の解決に貢献する。

理工学部の快翔

学びの先へ。ドキュメント 国土館

OPEN CAMPUS 2026

イベント情報は随時ホームページで更新中！

夢を見つけよう、叶えよう。そのための一歩を、踏み出そう。

世田谷キャンパス

8.1 (SAT) 8.2 (SUN) 8.29 (SAT)

町田キャンパス / 多摩キャンパス

8.22 (SAT)

日程により実施するイベント内容が異なります。詳細は「国土館大学ホームページ」をご確認ください。

事前申込制

国土館大学ホームページからお申し込みください。事前申し込みはこちら▶

夢をあきらめない

国土館大学

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1 TEL: 03-5481-3211（入試部）
E-mail: ad1@kokushikan.ac.jp https://www.kokushikan.ac.jp

あなたの“母校”が、家族の“志望校”に

AO選抜の出願基準※には卒業生・在学生のご家族を対象としたものがあります。

※出願基準③【本学卒業、在学生等子女系】…志願者の祖父母、両親、兄弟、姉妹のいずれかが、学校法人国土館が運営する学校の卒業生または在学生である者。もしくは、学校法人国土館が運営する学校の専任教職員（退職者を含む。）の子女である者。

※詳細や選抜制度については、本学ホームページに掲載中の『令和9年度入学選抜要項』をご確認ください。
<https://www.kokushikan.ac.jp/admission/undergraduate/>

(財務部)

6人に授与

手渡し、お祝いの言葉を贈った。

本学名誉教授の称号は、在職中に教育、学術または文化の発展に功績が顕著であった者を顕彰し授与する。

—【主な経歴】

し、学部運営および発展に貢献した。在職43年、法学部の一助を歴任し、法学部の要職を歴任し、学部運営および発展に貢献した。在職43年、

教育政策学 昭和59年筑波大学大学院取得満期退学。平成20年体育学部教授。こどもスポーツ教育学科の設置とともに本学(舊江) 学部教育の発展・教員養成の充実に貢献した。在職18年。

◇五島 京子(こうじゅ・きょうこ)Ⅱ民法・家族法
平成元年早稲田大学大学院法政研究科博士後期課程修了取得満期退学。平成18年法学部助教授、同18年同法学部教授、同長を長年にわたる務め西アジア研究の発展に力した。在職43年、

かずみと西美(おほなづみとせいび)考古学
昭和53年国立金沢文学部卒業。平成2年ノチエスター大学大学院考古学科博士課程単位取得満期退学。同年博(考古学)。昭和58年ラク古代文化研究所副として入職し、平成18同教授、令和4年2世紀アシアラビア教授。大学院

概要

樹齢100年超 クロマツ伐採
草創期から学園見守る1本

世田谷キヤノンハフ8号
館前のシンボルとして親
しまれてきた大きなクロ
被書予防の観点からクロ

マツの状態を鑑みて、今回の伐採となった。クロムヒスは伐採後の年輪から樹齢1000年を超えたと推定され、全長約25m、樹冠幅約1.8m、大樹であった。

それなにかつた8号館留一本が確認でき、草創から数本が同地に存続していることがわかっていゝ戦禍をも免れたクロムヒスは、昭和42年の構内写真でもその姿を確認できる。

令和7

本学は、高等学校教員向けの令和9年度入学者選抜説明会を5月15日、世田谷キャンパスで開催し、オンラインも含めて全国から236校の教員が参加した。今年度は、初の試みとして対象工実部が入試概要や今年度の実施される入試の変更点

アを全国の高校に広げた。また、オンデマンド配画も併せて実施したことで、参加校数は昨年度比22校増となった。

説明会では、本学入試

別相談」を説け、参 方針を幅広く伝えた。

教育後援会が総会 新年度事業・ 予算計画承認

国士舘大学教育後援会 保護者ら約60人が出席

は令和8年度総会を6月 27日、世田谷キャンパス

のメイプルセンチュリー いさつの後、来賓の堀

ホール大教室で開催し、 隆理理事長および田原

介と前後援会が設ける奨学費（給付）立替実績の報告の后、令和7年度の事業報告と決算報告、同事業報告と予算計画と予算計画についてそれぞれ説明があり、すべて承認された。今年度も大学の質

創立110年史の編さん事業本格化

令和9年11月に迎える創立110周年に向け、創立110年史編さん事業が本格化している。昨年12月3日付で発定した

国士舘大講堂見学ツアー

国十箇史資料室は、一般の方を対象とした国十館本講義見学ツアーを5月16日と6月20日に開催し、2日間で53人が見学を訪れた。見学ツアーでは、大講堂の107年わたる歴史や建築的特徴、飾られている扁額にまつまて学生ガイドらが詳細な解説、参加者には、ガイドの解説を傾けながら大講堂を自由に見学し、歴史的建造物ならではの風情を味わった。その後

107年の歴史に想い

国士館大講堂見学ツアー

柴田会館内の展示室に移動し、本学の歴史資料を観ることで理解を深めた。

国士館大講堂は、平成11年に国登録有形文化財建造物に登録され、以来同資料室の各種企画を通して内外にその歴史価値を伝えていく。見学ツアーは、4回開催、季節ごとの魅力を発信するとともに、学生ガイドにとっても本学の歴史を再認識する重要な機会となっている。

例の如く細々と支援する。学生に寄り添う支援に重きを置いての事業が計画されている。

同窓会から寄付金受贈

本法人は、国士舘大学同窓会から寄付金を受贈した。同窓会の坂本勝矢会長は、今年3月3日、潮野隆理理事長に創立10周年記念事業募金および学生生活援助金として180万円分の目録を手渡

「国士舘員会」は、5月25日編纂委員会を（策定し）来月に実施計画を策定し、その方向性をまとめた。

今回の編纂さんは、百年史編さんの基本理念を継ぎ、つち、客観的資料に基づき、直近10年を基

目録として、来年10月9日刊行に向けて約100頁のブックレット冊をまと

さんとする。

「国史館創立110年編纂委員会」は、5月25日に実施計画を策定してその方向性をまとめた。今回の編さんは、百年

した。以上
社基準は

支計算書における収
おける令和 8 年 3 月
負債並びに純資産の
減比) の状況につい
を切り捨てて表示し

事業活動収支計算書は、教育研究活動に関する収支、教育研究活動以外の経常的な（主に財務的な）収支、当年度に一時的に発生した特別収支というように活動区分ごとに収支を設け、その内容と均衡状態を明らかにし、経営状況を表すものです。また本年度取得した資産を将来へ保持し継続するために各収支差額の合計額から基本金を組み入れ、組み入れ後の収支の均衡状態を当年度収支差額として明らかにしています。

収入では、全体の4分の3を占める学生生徒等給付金が160億3千4百万円となりました。学生生徒数の内訳は、学部学生数12,577人、大学院学生数314人、高等学校生徒数1,133人、中学校生徒数197人です（数値はいずれも令和7年5月1日現在、令和7年度学校法に基づき調査に準拠した）。経常費等補助金は、国及び東京都から合計で33億9千8百万円の交付を受けました。主な内訳は、私立大学等経常費補助金で8億8千3百万円、「高等教育の修学支援新制度」による授業料等減免交付金で18億4千7百万円、高等学校及び中学校に対する東京都からの経常費補助金で4億8千6百万円を計上しています。その他の収入では、入学検定料を主とした手数料で4億4千3百万円、現物寄付を含む寄付金で9千2百万円、付随事業収入では、学生寮の運営に伴う補助活動収入で1億2千5百万円、防災、救急救急総合応答研究所などによる受託研究及び教員が獲得した学外諸機関からの受託研究による収入で9千万円、地域連携・社会貢献推進センターが行う地域交流に向けた公開講座収入で2千6百万円、雑収入では、退職金支出に相応した退職金財団等交付金ほかで7億5千4百万円となりました。この結果、教育活動収入

徴収不能額等では、当期において未収となった退学者及び除籍者の学生生徒等納付金ほかに対する合計額で、7千3百万円となりました。これにより教育活動支出合計は、186億4千2百万円を計上しました。

以上の結果、教育活動収入合計額から教育活動支出合計額を差し引いた教育活動収支差額は、23億2千4百万円の収入超過となりました。

教育活動外収支では、第3号基本金引当特定資産運用収入及び保有する有価証券等の受取利息・配当金などで2億9千6百万円の収入を計上し、建物等建設資金に要した借入金等利息に1千1百万円の支出を計上した結果、収支差額では2億8千5百万円の収入超過となりました。

特別収支では、施設設備の整備を迅速指定とする寄付金、科学研究費補助金により購入した備品等の現物寄付や過年度修正額（収入）などにより、3千2百万円の収入を計上しました。

一方で、地域交流文化センター及び旧ブル棟など建物及び構築物の処分並びに物品の不用決

資産の部		本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産		70,719,391,075	68,930,142,803	1,789,248,272
有形固定資産		36,831,854,859	37,531,186,079	△ 699,331,220
土 地		11,177,038,634	11,177,038,634	0
建 物 及 び 構 築 物		19,045,994,629	20,015,046,550	△ 969,051,921
教育研究用機器備品		1,191,810,124	1,017,825,867	173,984,257
管理用機器備品		154,397,638	142,243,745	12,153,893
図 書		5,179,008,325	5,156,624,274	22,384,051
車 両		15,785,009	21,197,009	△ 5,412,000
建 設 仮 勘 定		67,820,500	1,210,000	66,610,500
特 定 資 産		10,889,330,000	8,386,330,000	2,503,000,000
第2号基本金引当特定資産		6,000,000,000	4,000,000,000	2,000,000,000
第3号基本金引当特定資産		100,042,000	97,042,000	3,000,000
退職給与引当金特定資産		2,000,000,000	2,000,000,000	0
減価償却引当特定資産		1,789,288,000	1,789,288,000	0
奨学制度引当特定資産		1,000,000,000	500,000,000	500,000,000
その他の固定資産		22,998,206,216	23,012,626,724	△ 14,420,508
借 地 権：電 話 加 入 権		216,238,540	216,238,540	0
有 価 証 券		12,778,741,740	12,755,841,000	22,900,740
そ の 他 の 資 産		10,003,225,936	10,040,547,184	△ 37,321,248
流 動 資 産		14,626,828,993	14,378,231,122	248,597,871
現 金 預 金		11,924,371,861	11,102,134,414	822,237,447
未 収 入 金		648,844,406	767,759,257	△ 118,914,851
貯 蔵 品		56,224,091	59,454,091	△ 3,230,000
有 価 証 券		1,400,000,000	1,900,000,000	△ 500,000,000
前 払 金・仮 払 金		94,966,229	46,713,925	48,252,304
別 記 預 金 ほ か		502,422,406	502,169,435	252,971
資産の部合計		85,346,220,068	83,308,373,925	2,037,846,143

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	5,120,481,289	5,396,624,526	△ 276,143,237
長 期 借 入 金	606,454,000	903,682,000	△ 296,928,000
長 期 未 払 金	14,025,860	22,410,380	△ 8,384,520
退 職 給 与 引 当 金	4,500,001,429	4,470,832,146	29,169,283
流 動 負 債	5,990,101,875	5,600,207,740	389,894,135
短 期 借 入 金	296,928,000	392,910,000	△ 95,982,000
未 払 金	1,250,444,491	1,120,493,626	129,950,865
前 受 金	3,515,141,906	3,690,516,459	△ 175,374,553
預 り 金	405,588,942	396,287,655	9,301,287
賞 与 引 当 金	521,998,536	0	521,998,536
負債の部合計	11,110,583,164	10,996,832,266	113,750,898
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基 本 金	95,331,514,516	93,046,662,728	2,284,851,788
第 1 号 基 本 金	87,940,472,516	87,658,620,728	281,851,788
第 2 号 基 本 金	6,000,000,000	4,000,000,000	2,000,000,000
第 3 号 基 本 金	100,042,000	97,042,000	3,000,000
第 4 号 基 本 金	1,291,000,000	1,291,000,000	0
繰越収支差額	△ 21,095,877,612	△ 20,735,121,069	△ 360,756,543
翌年度繰越収支差額	△ 21,095,877,612	△ 20,735,121,069	△ 360,756,543
純資産の部合計	74,235,636,904	72,311,541,659	1,924,095,245
負債及び純資産の部合計	85,346,220,068	83,308,373,925	2,037,846,143

令和7年度決算の概要

定や図書館の除籍等による資産処分差額や、学校法人会計基準の改正に伴う償与引当金の計上に関連して、期首に計上すべき額としての償与引当金特別繰入金、過年度修正額（支出）により、7億1千9百万円の支出を計上した結果、マイナス6億8千6百万円の支出超過となりました。

以上の3つの区分における収支差額を合計した基本金組入前当年度収支差額は19億2千4百万円となり、同3区分の収入の合計額である事業活動収入212億9千6百万円を分母とする事業活動収支差額比率（経営状況の健全性を示す指標）は9.03%（対前年度1.58ポイント減）となりました。

この基本金組入前当年度収支差額から、教育研究活動に必要な資産を将来継続的に保持するために、基本金として22億8千4百万円を組み入れた（表示はマイナス）結果、当年度収支差額はマイナス3億6千万円となり、これに前年度繰越収支差額を加えた長期の収支均衡を表す翌年度繰越収支差額は、マイナス210億9千5百万円となりました。

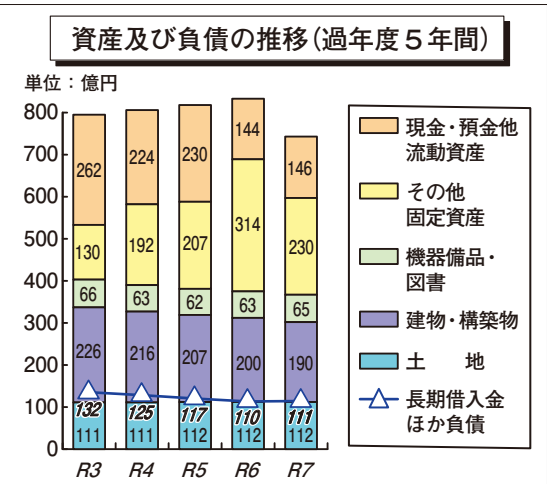
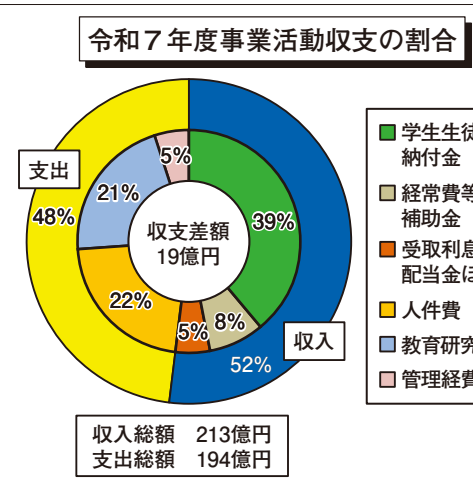
貸借対照表は、当年度末における資産・負債・基本金及び収支差額の残高を示し、財政状態を明らかにするとともに、教育研究に必要な資産の保有状況を表示するものです。

資産の部は、固定資産で707億1千9百万円となりました。有形固定資産は、土地で111億7千7百万円、建物で168億5千万円、構築物で21億9千5百万円、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車両及び建設仮勘定では合計で66億8百万円を計上しました。

特定資産では、キャンパス環境整備に向けた第2号基金引当特定資産、奨学基金の充実にに向けた第3号基金引当特定資産、将来の退職金支払いに充てる退職給付引当特定資産及び累積する減価償却額の一部に充てる減価償却引当特定資産、奨学制度の維持向上を目的とする奨学制度引当特定資産の合計で108億8千9百万円を計上しました。

その他の固定資産では、多摩丘陵病院への施設利用権として8億8千9百万円、残存期間が1年を超える長期保有の有価証券として127億7千8百万円などで、合計229億9千8百万円となりました。

流動資産では、現金預金に加えて1年以内に



令和7年度 事業活動収支計算書(概略)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

		科 目	予 算	決 算	差 異		
教育活動収支	事業活動収入の部	学 生 生 徒 等 納 付 金	16,069,207,000	16,034,731,530	34,475,470		
		手 数 料	433,522,000	443,043,990	△ 9,521,990		
		寄 付 金	87,997,000	92,211,155	△ 4,214,155		
		経 常 費 等 補 助 金	3,317,739,000	3,398,984,546	△ 81,245,546		
		付 随 事 業 収 入	237,468,000	243,817,891	△ 6,349,891		
		雑 収 入	744,845,000	754,718,282	△ 9,873,282		
	事業活動支出の部	教育 活 動 収 入 計	20,890,778,000	20,967,507,394	△ 76,729,394		
		人 件 費	8,708,541,000	8,749,236,405	△ 40,695,405		
		教 育 研 究 経 費	8,708,418,000	8,397,354,872	311,063,128		
		管 理 経 費	1,421,711,000	1,422,639,689	△ 928,689		
		徴 収 不 能 額 等	56,600,000	73,345,740	△ 16,745,740		
		教育 活 動 支 出 計	18,895,270,000	18,642,576,706	252,693,294		
教育活動外収支	事業活動収入の部	教育 活 動 収 支 差 額	1,995,508,000	2,324,930,688	△ 329,422,688		
		受 取 利 息 ・ 配 当 金	289,796,000	296,320,013	△ 6,524,013		
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0		
		教育 活 動 外 収 入 計	289,796,000	296,320,013	△ 6,524,013		
		借 入 金 等 利 息	10,803,000	11,021,687	△ 218,687		
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0		
	事業活動支出の部	教育 活 動 外 支 出 計	10,803,000	11,021,687	△ 218,687		
		教育 活 動 外 収 支 差 額	278,993,000	285,298,326	△ 6,305,326		
		経 常 収 支 差 額	2,274,501,000	2,610,229,014	△ 335,728,014		
		特別収支	事業活動収入の部	資 産 売 却 差 額	0	0	0
				そ の 他 の 特 別 収 入	37,837,000	32,868,263	4,968,737
				特 別 収 入 計	37,837,000	32,868,263	4,968,737
事業活動支出の部	資 産 処 分 差 額		174,474,000	187,081,550	△ 12,607,550		
	そ の 他 の 特 別 支 出		530,112,000	531,920,482	△ 1,808,482		
	特 別 支 出 計		704,586,000	719,002,032	△ 14,416,032		
		特 別 収 支 差 額	△ 666,749,000	△ 686,133,769	19,384,769		
		基本金組入前当年度収支差額	1,607,752,000	1,924,095,245	△ 316,343,245		
		基本 金 組 入 額 合 計	△ 2,768,942,000	△ 2,284,851,788	△ 484,090,212		
		当 年 度 収 支 差 額	△ 1,161,190,000	△ 360,756,543	△ 800,433,457		
		前 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 20,735,121,069	△ 20,735,121,069	0		
		翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 21,896,311,069	△ 21,095,877,612	△ 800,433,457		
(参考)							
事 業 活 動 収 入 計			21,218,411,000	21,296,695,670	△ 78,284,670		
事 業 活 動 支 出 計			19,610,659,000	19,372,600,425	238,058,575		
詳細はホームページに掲載しています							



国士舘大学

大学 政経学部 | 体育学部 | 理工学部 | 法学部 | 文学部 | 21 世紀アジア学部 | 経営学部
大学院 政治学研究科 | 経済学研究科 | 経営学研究科 | スポーツ・システム研究科 | 救急システム研究科
工学研究科 | 法学研究科 | 総合知的財産法学研究科 | 人文科学研究科 | グローバルアジア研究科



instagram



X



YouTube



facebook

世田谷キャンパス
東京都世田谷区世田谷4-28-1

町田キャンパス
東京都町田市広袴1-1-1

多摩キャンパス
東京都多摩市永山7-3-1

令和8年度科学研究費助成事業

43件に5811万円交付

独立行政法人日本学術振興会から、令和8年度科学研究費助成事業の研究種目別に交付決定があり、新規採択14件（うち転入1件）、継続課題29件（うち転入4件）の計43件の学術研究に合わせ5811万円の科研費が交付される。

採択された学術研究は、下表のとおり。

令和8年5月1日現在

研究種目	氏名	所属	職名	研究課題
基盤研究(B)	久保田 裕次	文学部	准教授	19-20世紀転換期における日本の「南進」と東アジア国際関係
基盤研究(C)	菱刈 晃夫	文学部	教授	メランヒトン以後の「人間学」の成立と展開に関する思想的考察
基盤研究(C)	加藤 幸治	文学部	教授	地方圏の公立医療機関を存続可能化させるための条件に関する経済地理学研究
基盤研究(C)	板山 真弓	政経学部	准教授	日米防衛協力の実態 1964-1978-海軍の共同訓練を通じた軍事的社会化に注目して
基盤研究(C)	満上 智恵子	文学部	特別任用教授	インクルーシブ教育における個別最適の学びの探究：探求学習における情報支援サービス
基盤研究(C)	鈴木 俊夫	理工学部	講師	p進数上の時間周波数解析の理論の構築とその応用
基盤研究(C)	大橋 隆弘	理工学部	教授	プレス加工穴開きをを用いた革新的なFSW継手の強化法の研究
基盤研究(C)	今井 隆浩	理工学部	教授	ナノファイバー分散構造に基づくナノコンポジット絶縁材料の性能予測手法の開発
基盤研究(C)	都 城治	防災・救急救助総合研究所	講師	ドローンを用いた河川湖沼の早期発見と行動特性の定量化：飛行高度・速度の最適化研究
基盤研究(C)	小林 久美	体育学部	講師	バスマツにおける子どもの栄養不良の要因と学校保健モデル構築に関する研究
基盤研究(C)	藤井 嵩子	体育学部	准教授	運動誘発性炎症が引き起こす脳内鉄欠乏の病態解明と神経機能への影響
基盤研究(C)	江川 陽介	文学部	教授	FPVドローンを用いた人と機械の協調型ライブベリング監視システムの研究
若手研究	岡崎 須賀 麻衣	政経学部	准教授	「スタシス」の政治思想史：プラトンによる対処法とヘレニズム期におけるその展開
若手研究	常木 麻衣	21世紀アジア学部	講師	古代西アジアの度量衡制度と経済活動：地域差と標準化の歴史的検証
基盤研究(C)	紙屋 牧子	文学部	講師	映画を中心とした視覚文化の分析を通じた近代天皇（制）の表象研究
基盤研究(C)	仁藤 智子	文学部	教授	東アジアにおける日本古代王権の構造と権力表象の研究—女帝と国家儀礼から—
基盤研究(C)	三浦 正広	法学部	教授	デジタル・ネットワーク社会における著作権者契約法理の機能に関する比較的研究
基盤研究(C)	成川 達也	理工学部	准教授	重力波を用いた中性子星の状態方程式と宇宙論的研究
基盤研究(C)	和田 匡史	理工学部	教授	外部刺激による身体加温が体温調節リズムやストレスコントロールに与える影響の解明
基盤研究(C)	菊 幸一	体育学部	特別任用教授	競技会との関係からみた青少年期におけるSport in Lifeの公共性に関する日独比較
基盤研究(C)	羽田 克彦	体育学部	教授	アスリートにおける疼痛認識不均衡の神経メカニズム解明
基盤研究(C)	中島 剛	体育学部	准教授	高齢者の転倒を予防する新しい歩行機能訓練法の開発
基盤研究(C)	河野 正	21世紀アジア学部	准教授	人民公社黎明期、華北村落の社会変容
基盤研究(C)	西村 亮彦	理工学部	准教授	漸進的な公共空間再生に効果的な社会実験のデザイン手法に関する実践研究
基盤研究(C)	二井 昭佳	理工学部	教授	都市再生戦略としての水辺を核とした空間再編の計画デザイン技術の体系化
特別研究員奨励費	君塚 貴久	法学部	講師	未遂犯における「犯罪の終了」概念の明確化
基盤研究(C)	鈴木 慎也	21世紀アジア学部	准教授	三次元計測による古代スリランカの水利遺構の断層構造と築造技術の解明
基盤研究(C)	鈴木 裕之	法学部	教授	SNSによるアフリカ口頭伝承のグローバル化と民族的アイデンティティ創出との関係性
基盤研究(C)	小久保 彰	理工学部	准教授	プログラミング教育を活用したマルチプラットフォーム型防災教育カリキュラムの開発
基盤研究(C)	桜井 美加	文学部	教授	ロボット・アシステッド・セラピーによるロボット特性がヒトに及ぼす生理心理効果
基盤研究(C)	桐越 仁美	文学部	准教授	西アフリカにおける女性・子どもの移動と移民コミュニティによるケアの構造
若手研究	齊藤 紅葉	文学部	准教授	明治後期中における公家・武家融合を踏まえた明治維新の再解釈—杉森七郎を中心に—
若手研究	神野 幸隆	文学部	准教授	「持続可能性」概念の具体化に基づく小・中社会科における構成型ESD授業モデルの開発
若手研究	大久保 圭介	文学部	講師	日本人の父子関係におけるアタッチメントタイプの規定要因と発達的帰結の解明
基盤研究(B)	鈴木 佑記	政経学部	教授	タイの「後住民」による先住民運動に関する人類学的研究
基盤研究(B)	石野 裕子	文学部	教授	記憶する都市：ヨーロッパにおける場所とモノが語る「歴史」
基盤研究(C)	小山 拓志	文学部	准教授	四国山岳地域における「疑似森林限界」の動態と変遷史
基盤研究(C)	小野瀬 倫也	文学部	教授	子どものプリコンセプションから始まる学びの最適化を目指した理科授業デザインの研究
基盤研究(C)	清水 優菜	文学部	准教授	統計不安の測定尺度開発と実態解明
基盤研究(C)	澤邊 正人	理工学部	教授	有限群論再生としての、群複体の幾何と表現の研究
基盤研究(C)	後藤 貴浩	文学部	教授	地域におけるジュニアスポーツ指導者の生活実践分析
基盤研究(C)	陳 洋明	体育学部	准教授	小学校体育科における投能力育成に向けた運動領域横断カリキュラムの開発
基盤研究(C)	河野 寛	文学部	教授	幼少期における動脈弾性度と体力の関係—横断的・縦断的検討—

合計43件 新規採択14件（うち転入1件）、継続課題29件（うち転入4件）。



世田谷プラットフォーム 産主導で初講座

世田谷プラットフォームと東京商工会議所世田谷支部の連携事業「JPN-NEOキヤリアデバタラ」が6月19日、駒澤大学深沢キャンパス120周年プラザホールで開催され、本学経営学部の田中史人教授と世田谷支部の代表者らが出席した。本学は、経営者や起業家などに向けて世田谷プラットフォームと起業に必要なマインドセットを説明し、まちづくりの強みを信じて一歩踏み出すことから始める。また、同地区の発展に寄与することを目的とする産学連携のオープンカレッジとして初めて開催された。

講座では、事業創出が専門の田中教授が登壇し、実践的なマインドセットを紹介しながら、事業創出のプロセスやポイントの解説が行われた。田中教授は、「まず、起業家としてのマインドセットを身につけて、起業の準備を整えよう」と話した。

世田谷プラットフォーム 産主導で初講座

世田谷プラットフォームと東京商工会議所世田谷支部の連携事業「JPN-NEOキヤリアデバタラ」が6月19日、駒澤大学深沢キャンパス120周年プラザホールで開催され、本学経営学部の田中史人教授と世田谷支部の代表者らが出席した。本学は、経営者や起業家などに向けて世田谷プラットフォームと起業に必要なマインドセットを説明し、まちづくりの強みを信じて一歩踏み出すことから始める。また、同地区の発展に寄与することを目的とする産学連携のオープンカレッジとして初めて開催された。

講座では、事業創出が専門の田中教授が登壇し、実践的なマインドセットを紹介しながら、事業創出のプロセスやポイントの解説が行われた。田中教授は、「まず、起業家としてのマインドセットを身につけて、起業の準備を整えよう」と話した。

筋原性細胞守る「Metap1D」酵素の役割解明

長名シオン准教授 体育学部

運動と代謝の調節に重要な役割を果たしている筋原性細胞の健康維持に必要な要素は解明されていなかったが、長名准教授は「Metap1D」酵素の役割を明らかにした。

これまで、筋原性細胞の健康維持に必要な要素は解明されていなかったが、長名准教授は「Metap1D」酵素の役割を明らかにした。

溺水心停止 胸骨圧迫+人工呼吸で生存率向上

大学院生2人と 中川 洗志講師 体育学部

大学院救急システム研究科修士課程2年の阿部さんと同博士課程2年の木村龍二さん、中川洗志准教授らによる研究で、溺水心停止に対する市民の心肺蘇生（CPR）の効果を検証し、人工呼吸を含むCPRが生存率向上に有効であることを明らかにした。

父子の「愛着」、育児の喜びと関係

大久保圭介講師 文学部

文学部の大久保圭介講師らの研究グループは、父子関係における父親の育兒意識と父親の育兒行動との関係性を明らかにした。

障がい、言語、文化的背景など越え共生



トップアスリートの育成経験を生かして授業する 佐々木洋客員教授

花巻東高校硬式野球部監督 佐々木洋氏

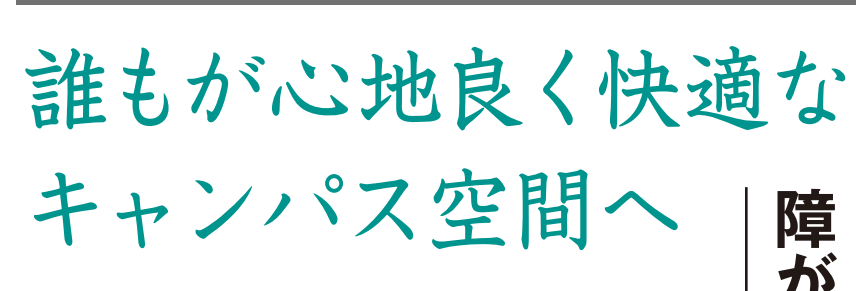
佐々木洋氏は、花巻東高校硬式野球部監督を務め、2025年に第100回全国高等学校野球選手権大会で優勝した。

スポーツ心理学

佐々木洋氏 21世紀アジア学部

佐々木洋氏は、スポーツ心理学の専門家として、選手のメンタルを支援する役割を果たしている。

障がい学生らの声反映へワークショップ



ワークショップで得た気づきを共有する参加者ら。発表しているのは特別支援教育を学ぶ文学部の学生

いよいよ（仮称）梅根の建設が開始した世田谷キャンパスの再整備事業。梅根では学生の居場所として、各階に交流の場を生み出す共有スペース「ナレッジ」を構想している。誰もが心地よく安心して過ごせる空間の実現を目指し、計画段階から利用者の声を聞き設備設計に反映させる取り組みを進めている。

ワークショップで得た気づきを共有する参加者ら。発表しているのは特別支援教育を学ぶ文学部の学生

学生食堂・精養堂に「水平リサイクル容器」

赤石セミ提案、試験導入

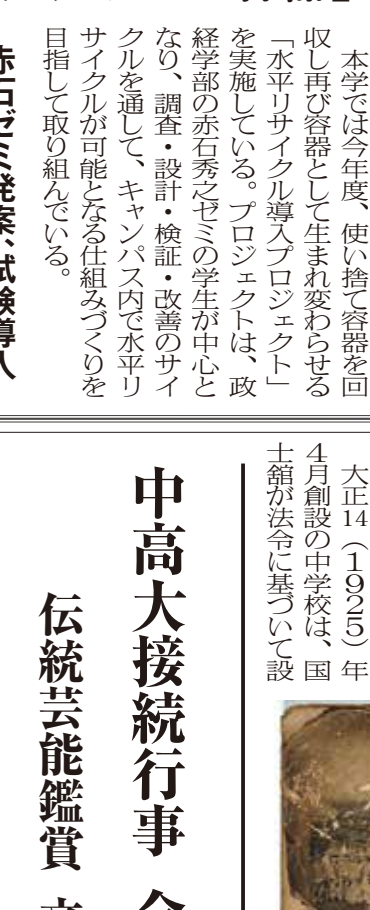
5月からスタートしたプロジェクトでは、水平リサイクル容器の導入企業との合同ミーティング、ゴミの回収業者へのインタビューなど事前調査を進めた。それらを経て、6月5日から世田谷キャンパス8号館の学生食堂・精養堂で水平リサイクル容器と回収ボックスを試験導入した。

学生食堂・精養堂に「水平リサイクル容器」

赤石セミ提案、試験導入

5月からスタートしたプロジェクトでは、水平リサイクル容器の導入企業との合同ミーティング、ゴミの回収業者へのインタビューなど事前調査を進めた。それらを経て、6月5日から世田谷キャンパス8号館の学生食堂・精養堂で水平リサイクル容器と回収ボックスを試験導入した。

学内で容器返却→回収→再生



学内で容器返却→回収→再生

水平リサイクル容器で提供された弁当（左）を回収し、再生する仕組みが実現した。

中高大接続行事 全学で進む

伝統芸能鑑賞 文化に触れる

本学と国士館中学・高等学校が一体となって取り組む中高大接続行事が全学で進められている。

中高大接続行事 全学で進む

伝統芸能鑑賞 文化に触れる

本学と国士館中学・高等学校が一体となって取り組む中高大接続行事が全学で進められている。

研修生10期で100人輩出

エジプトとの病院前救急医療研修プログラム終了

日本とエジプト政府間の「エジプト・日本教育パートナーシップ（EJPT）」のもと、エジプトの病院前救急医療研修プログラムが10期で100人輩出した。

第1回中学校卒業アルバム

（劣化顕著の初頁）

第1回中学校卒業アルバム（劣化顕著の初頁）

授業の現場から vol.38

助川 成也ゼミ



インドネシア人介護福祉士候補生と交流する黒瀬さん（後列右端、前列左端が助川教授）

政経学部3年 黒瀬 直弥
経済学科の助川成也ゼミでは、東南アジアの経済・政治・社会について専門的に学んでいます。通常のゼミでは、東南アジアの持続的な経済成長や政策形成、地域経済統合などをテーマに、専門書の解説や発表を通して理解を深めています。本ゼミの大きな特色は、教室の隅々まで、教室内の隅々まで、幅広の学外活動

を通じて実践的な経験を積めることです。その一環として、国際交流です。助川ゼミでは、日本で介護福祉士資格の取得を目指すインドネシア人候補生との交流を継続的に実施しています。候補生が、母国を離れて日本で学ぶ理由や日常生活などについて直接話を聞くことで、異文化への理解を深めるとともに、同世代の努力する姿に大きな刺激を受けています。

永吉 英記ゼミ



自然体験教室のシュノーケリング後に、参加した子どもたちと（後列右から3人目が関口さん）

体育学部4年 関口 麻耶
このスポーツ教育学科の水泳実習では、地域の子とも対等の自然体験教室や自然学校などに参加し、環境意識や友誼を育んでいます。活動の醍醐味は、仲間と協力して課題をクリアしていくこと。安全面への配慮や活動内容の確認を徹底し、活動後は、子どもたちと交流し、成長を促しています。また、地域と連携した健康・体力づくり事業やスポーツ教室に携わっています。実践と振り返り、子どもが自ら学ぶ

で、幅広い年齢層に応じた効果的な取り組みや環境整備を研究しています。私たちは、週1回のゼミ活動に加え、休日は学校やスポーツクラブでのボランティア活動で実践力を養っています。活動前には、役割を分担したうえ、安全面への配慮や活動内容の確認を徹底し、活動後は、子どもたちと交流し、成長を促しています。また、地域と連携した健康・体力づくり事業やスポーツ教室に携わっています。実践と振り返り、子どもが自ら学ぶ

文部科学省と民間企業が連携し世界へ挑戦する若者を支援する留学制度「トビタテ！留学JAPAN新・日本代表プログラム」に今年1月末から約2カ月間、面出晟生さん（体育4年）が参加した。水泳部で副主将を務める彼の留学先はハンガリースポーツ科学大学。東欧のスポーツ先進国での学びと挑戦の日々を追った。



ハンガリー留学 トビタテ！で獲得

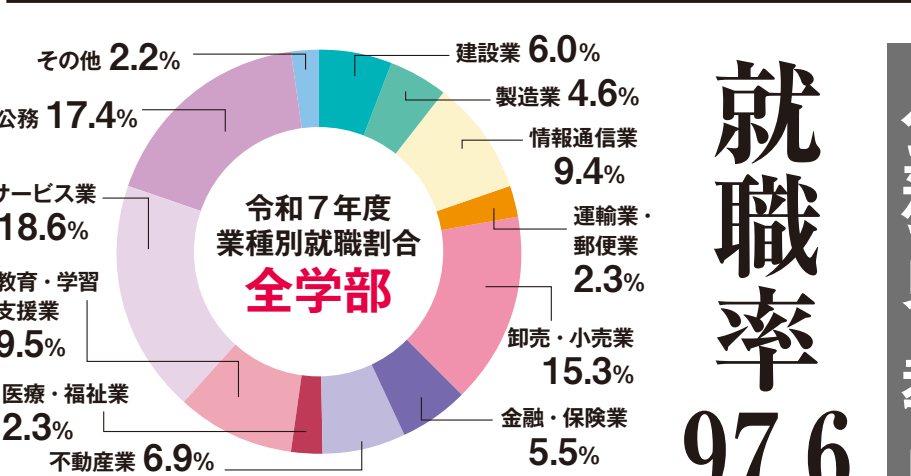
体育学部4年 面出 晟生さん
面出さんの挑戦は、どんな底からスタートだった。交通事故による左足下半身の怪我で、TOEIC 375点の英語力、諦めかけた教員免許。「水泳も勉強も中途半端だったと振り返る面出さんは、落ちこぼれた」と自嘲する。その転機は、大学ホームページで知った本制度だった。「ここで人生を変える」と覚悟を決め即応募。早期の部活動、日中の教職課程や就職活動と並行しながら選考に挑み、ついに本学史上2人目となる

「トビタテ生」として留学のチャンスをつかんだ。複合的な運動の大切さ学ぶハンガリーで学んだのは、才能発掘に特化した体育教育だった。その一つが幼少期に複合的な運動を経験させたことだ。幼少期からの行動力や現地のコミュニティに溶け込んだ。留学を経て、「スポーツは、社

「人生変える！」部活も学業もどんだから大逆転

「トビタテ生」として留学のチャンスをつかんだ。複合的な運動の大切さ学ぶハンガリーで学んだのは、才能発掘に特化した体育教育だった。その一つが幼少期に複合的な運動を経験させたことだ。幼少期からの行動力や現地のコミュニティに溶け込んだ。留学を経て、「スポーツは、社

希望進路に合わせ手厚いサポート



令和7年度（5月1日現在）の本学学部卒業生の就職率は97.6%（前年度比0.1ポイント増）となり、高い水準を維持している。本学が強くする公務員および教員の分野には合計596人が就職した。



面接担当2人、検証担当1人の3人体制で実施した本番さながらの模擬面接

東京消防庁の消防官1類1次試験合格者を対象とした模擬面接が5月27・28日、6月1日の3日間、多摩キャンパス25号館で行われ、体育学部スポーツ医科学科の学生を中心に76人が参加した。模擬面接では、時事問題から入った面接官からの質問に、学生は緊張した面持ちで、一歩一歩、表現力不足をフィードバックしても

公務員・教員就職596人

令和7年度（5月1日現在）の本学学部卒業生の就職率は97.6%（前年度比0.1ポイント増）となり、高い水準を維持している。本学が強くする公務員および教員の分野には合計596人が就職した。

7年度実績

援センターによる講座・模擬試験・個別相談のほか、各学部において公務員採用

試験を見据えた取り組みを早期から実施。学生一人一人の状況に応じた丁寧なキャリア支援を行い、希望進路を実現できる環境を広く整えている。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

49回救急救命士国家試験

に、体育学部スポーツ医科学科の学生150人（既卒生を含む）が合格した。平成16年以来、全国の四年制大学の中で1位を保持している。

また、3月にわたる第

海外協定校との交流活発

理工・文学部 フィリピンやインドネシア



本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

フィリピンやインドネシアの大学と交流している。本学と世界各国の海外協定校との国際交流が、層層と広がっている。

令和8年度事業計画

詳細はホームページに掲載しています

はじめに

本年の事業計画は、「学校法人国士館第3次中期事業計画」の第2年度にあたり、「国士館キヤンパス環境整備計画」の新校舎仮称・梅棟建設が着工の段階にあることから、前年度に始動した諸計画を確実に実行段階に押し進めるとなっています。

大改修の完了とカバナスへの対応など、私学が社会から求められる役割が多様化・高度化している中、それらの変化に対応する確かな対応として、学園のさらなる発展を目指すべく、法人と教職員が一致団結、一致協力して、まっしぐら進みます。

1 学園事業の概要

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

教員

元小学校校長 所作、受け答え指導

本学教職課程運営センター主催の第2回教員採用試験面接練習・研修会が6月13日、世田谷キャンパスで開かれ、令和8年度の教員採用試験を受ける学部3・4年生ら17人が参加した。

参加者は、小・中学校長を歴任した教職支援アドバイザー指導のもと、個人面接での所作や受け答えから、科目ごとの模擬授業まで幅広い内容を実践。所属学部や受験科目が異なる学生同士で互いに新たな気づきを得る様子も見られた。

本学では、教職を目指す学生のために、各キャンパスに教職支援室を設置し、個々に合わせた指導で「教職に強い国士館」を支えている。

警察官

各警察の特色・魅力を紹介

法学部は5月27日、各都府県警察などの採用担当者を招いた説明会を開催し、警察官を志望する同学部の2・3年生約70人が参加した。説明会では、学生が全国の警察の特色を理解し比較した上で採用試験に臨めるよう、警察官輩出者数が多い同学部が毎年、独自で企画している。

今回の説明会では、皇宮警察と5つの都府県警察の採用担当者から、職務内容や警察学校での生活、採用試験で変更された点など、それぞれの特色を紹介した。その後は各警察に分かれ、採用情報に答えるなど、現場の実情や職務の魅力、やりがいをさまざまな観点から学生にアドバイスした。

法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学生からは「各警察の説明を一度に聞き、特徴を鮮明に理解できた」「最新の採用情報を得られ、有意義な時間になった」と感想が寄せられた。法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学生からは「各警察の説明を一度に聞き、特徴を鮮明に理解できた」「最新の採用情報を得られ、有意義な時間になった」と感想が寄せられた。法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学生からは「各警察の説明を一度に聞き、特徴を鮮明に理解できた」「最新の採用情報を得られ、有意義な時間になった」と感想が寄せられた。法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学生からは「各警察の説明を一度に聞き、特徴を鮮明に理解できた」「最新の採用情報を得られ、有意義な時間になった」と感想が寄せられた。法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学生からは「各警察の説明を一度に聞き、特徴を鮮明に理解できた」「最新の採用情報を得られ、有意義な時間になった」と感想が寄せられた。法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学生からは「各警察の説明を一度に聞き、特徴を鮮明に理解できた」「最新の採用情報を得られ、有意義な時間になった」と感想が寄せられた。法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学生からは「各警察の説明を一度に聞き、特徴を鮮明に理解できた」「最新の採用情報を得られ、有意義な時間になった」と感想が寄せられた。法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学生からは「各警察の説明を一度に聞き、特徴を鮮明に理解できた」「最新の採用情報を得られ、有意義な時間になった」と感想が寄せられた。法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学生からは「各警察の説明を一度に聞き、特徴を鮮明に理解できた」「最新の採用情報を得られ、有意義な時間になった」と感想が寄せられた。法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学生からは「各警察の説明を一度に聞き、特徴を鮮明に理解できた」「最新の採用情報を得られ、有意義な時間になった」と感想が寄せられた。法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学生からは「各警察の説明を一度に聞き、特徴を鮮明に理解できた」「最新の採用情報を得られ、有意義な時間になった」と感想が寄せられた。法学部ではこのほか、面接対策にも力を注ぎ、警察官志望学生を後押ししている。

各警察採用担当者個別に相談

学校法人国士館

更新、中央図書館5階の電動式集書架リニューアル

(町田キャンパス) 野球場1塁側の防球ネット増設、外灯照明設備更新、第三体育館剣道場の床板張替、15号館プールサイドの塗装、鶴川寮のガス給湯設備更新

(多摩キャンパス) 陸上競技場の改修、21号館・25号館・体育館棟等の照明設備更新、体育館棟1階トイレ増設に伴う更衣室の改修、食堂棟の空調機更新、25号館3階実習室の個室面談スペース設置、高等学校野球部寮多摩球心寮の空調機更新

(全キャンパス共通) 基幹ネットワークのリプレース、端末室AV機器のリプレース、自習室(大学院・端末室)用PCのリプレース

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

(仮称)梅棟の建設工および交通路の設置に向けた34号館の改修工事、中学校校舎の新築に向けた与条件整理および工事発注準備、フェーズ2以降の移転計画に向けた与条件整理および既存校舎の改修内容の詳細検討

(世田谷キャンパス) 34号館の照明設備更新、7号館の空調機更新

